





ス」、▽12月26日「この本を盗む者は」、《26年》▽1月16日「とれ!」、▽「ナウ・ユー・シー・ミー」ナウ・ユー・ドント(原題)、「NEW GROUP」、▽「ジップライン(原題)」、▽夏「劇場版新作 ケロロ軍曹(バンダイナムコフィルムワークス 共同配給)」。

■カルチャヴィル  
 ▽9月12日「オアシス」ネプワース1996…DAY2 Sunday 11th August」、▽12月26日NTLive「インター・エイリア」、《26年》▽1月23日NTLive「ウォレン夫人の職業」、▽2月13日NTLive「ハムレット」、▽3月20日NTLive「フィフス・ステップ」、▽「プリストル・オールド・ヴィック・オン・スクリーン」。  
 ■カルチュア・エンタテインメント  
 ▽11月28日「兄を持ち運べるサイズに」、《26年》▽1月16日「万事快調(オール・グリーンズ)」、▽「ザ・ホーム(原題)」。  
 ■キノフィルムズ  
 ▽9月26日「ラスト・プレス」、▽10月31日「てっぺんの向こうにあなたがいる」、▽12月5日「ノックス・ゴーズ・アウェイ(原題)」、《26年》▽1月16日「旅の終わりのたからもの」、▽2月「トウゲザー(原題)」、▽3月「ノー・アザー・チョイス(英題)」、▽4月「黄金泥棒」、▽春「LOST LAND/ロストランド」、▽「クリステイ(原題)」、▽「マイケル(原題)」、▽「パワー・バラード(原題)」。  
 ■ギャガ  
 ▽9月19日「ムガリッツ」、▽10月24日「富士山とユー

(次のページへ)

シネマカンパニー  
TEL. 03-5280-5607



<p>（前のページから）</p> <p>▽11月28日「栄光のバックホーム」、▽12月12日「悪魔祇株式会社」《26年》</p> <p>▽1月1日「迷宮のしおり」、▽1月1日「ダウントン・アビー」</p> <p>▽ザ・グラランド・フィナーレ（原題）、▽2月「プゴニア（原題）」、▽2月「センチメンタル・バリエーション（原題）」、▽4月「サウンド・オブ・フォーリング（原題）」、▽4月「ソング・サング・ブルー（原題）」</p> <p>▽5月「幕末ヒボクラテスたち」、▽6月「プリティー・クレイジー（原題）」、▽7月「ザ・ラブ・ザット・リメインズ（原題）」、▽7月「マザーズ・インスティンクト（原題）」、▽8月「ナイトボーン（原題）」、▽「ザ・ライフ・オブ・チャック（原題）」（松竹共同配給）</p> <p>■クロックワークス</p> <p>▽9月19日「ブラックドッグ」、▽10月3日「シークレット・メロディ」、▽10月3日「リビング・ラジー」、▽10月24日「ミーツ・ザ・ワールド」、▽11月21日「金髪」、▽12月12日「シャドウズ・エッジ」、▽12月26日「アマゾン・ブルズアイ（英題）」《26年》</p> <p>▽1月2日「ワーキングマン」、▽「デン・オブ・シークス2」</p> <p>▽パンテラ（原題）、▽「ダーク・ナナズ（英題）」、▽「レイクイテム・フー・ドリーム4K」、▽「エイリアノイド（英題）」、▽「ハイファイブ（原題）」、▽「ザ・クロウ（原題）」、▽「MA MERE, DIE（原題）」</p> <p>■松竹</p> <p>▽9月19日「ファンファーレ！ふたつの音」、▽9月</p>		<p>26日「俺ではない炎上」、▽10月10日「ヤマトよ永遠に REBEL3199 第四章 水色の乙女」（松竹ODS事業室）、▽10月17日「ストロベリームーン 余命半年の恋」、▽10月31日「松竹ブロードウェイシネマ2025秋『エニシング・ゴーズ』『インディセント』『ダイタニック』」（松竹ODS事業室）、▽11月14日「KILL 超覚醒」、▽11月21日「TOKYOタクシー」、▽11月21日「METライプビューイング2025」</p> <p>26（松竹ODS事業室、▽11月28日「ナイトフラワー」、▽12月24日「映画ラストマン・FIRST LOVE」、《26年》</p> <p>▽1月2日「幸四郎版」・1月23日「松也版」シネマ歌舞伎「歌舞伎NEXT 龍の森に棲む鬼」、▽2月「悪魔のいけにえ4K」、▽3月13日「パリに咲くエトワール」、▽「ミューティニー（原題）」</p> <p>■シンカ</p> <p>▽11月14日「マッツ・ミケルセン生誕60周年祭」、▽12月19日「世界一不運なお針子の人生最悪な1日」、《26年》</p> <p>▽1月23日「カリギュラザ・アルティメイト・カット（原題）」、▽2月13日「スパーマゲドン（原題）」、▽「ザ・ハウス・オブ・ザ・デビル（原題）」（OSOREZONE配給）、▽「リッチ・フルー（原題）」</p> <p>■ソニー・ピクチャーズ</p> <p>▽10月31日「盤上の向日葵」、▽12月19日「ビューティフル・ジャーニー ふたりの時空旅行」、《26年》</p> <p>▽1月16日「28年後：白骨の神殿」、▽1月23日「MER CY/マーシー AI裁判」、▽「クライム101（原題）」、▽「プロジェクト・ヘイル・メアリー」、▽「アナコン</p>		<p>ダ（仮題）」、▽「映画 正直不動産」、▽夏「スパイダーマン：ブランド・ニュー・デイ」、▽「バイオハザード（仮題）」、▽「ジュマンジ3（仮題）」、《27年》</p> <p>▽「ゼルダの伝説（仮題）」、▽「スパイダーマン：ビヨンド・ザ・スパイダーバース」、《28年》</p> <p>▽「ザ・ビートルズ（仮題）」</p> <p>■ツイ</p> <p>▽9月26日「プロセキューター」、▽10月10日「層間騒音」、▽11月7日「モンテ・クリスト伯」、▽「パバリ・ジ・エピック（英題）」、《26年》</p> <p>▽「バーフバリ・ザ・トリ・ベア（英題）」、▽「ウォー2（英題）」、▽「パンダ・プラン（英題）」、▽「レジェンズ・オブ・ザ・コンド」</p> <p>・ヒーローズ」</p> <p>・ザ・ガランツ（英題）」、▽「オムニシエント・リーダー」</p> <p>・ザ・プロフェシー（英題）」、▽「ザ・ラスト・ダンス（英題）」、▽「ハイジャック1971（英題）」、▽「ジ・アグリ（英題）」</p> <p>■東映</p> <p>▽9月12日「映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ！キミに届けるキラッキライブ」、▽9月12日「Dear Stranger/ディア・ストレンジャー」、▽「前編」</p> <p>9月19日「宝島」、▽10月3日「【後編】11月14日「劇場版総集編 ガールズバンドクライ【前編】青春狂走曲【後編】なあと未来」、▽10月13日「THE FIRST SLAM DUNK 2025 incinema」、▽10月24日「劇場版ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス」、▽11月14日「港のひかり」、▽12月5日「ペリリユー 楽園のゲルニカ」、▽12月19日「楓</p>		<p>（アスミック・エース共同配給）、《26年》</p> <p>▽2月13日「劇場版 僕の心のやばいやつ」（エイベックス・ピクチャーズ共同配給）、▽「楽園追放 心のレゾナンス」（アニプレックス共同配給）</p> <p>■東京テアトル</p> <p>▽9月17日「男神」（平成プロジェクト配給）、▽10月17日「おい、応為（ヨアケ共同配給）」、▽12月12日「映画きかんしやトーマス サンタをさがせ！パーシーのクリスマス急行」、《26年》</p> <p>▽春「映画きかんしやトーマス」</p> <p>・シンダズ・マスコット」</p> <p>・ウグザ」</p> <p>（仮題）」、▽「初夏「モブ子の恋（イオンエンターテイメント共同配給）」</p> <p>■東宝</p> <p>▽9月19日「劇場版 チェンソーマン レゼ篇」、▽9月26日「沈黙の艦隊 北極海大海戦」、▽10月10日「秒速5センチメートル」、▽11月14日「平場の月」、▽11月21日「果てしなきスカレット」（SPE共同配給）、▽12月12日「ロマンティック・キラー」、▽12月19日「新解釈 幕末伝」</p> <p>■東宝東和</p> <p>▽9月5日「ヒックとドラゴン」、▽10月24日「Mr. ノーバディ2」、▽11月21日「ブラックフォーン2」、《26年》</p> <p>▽1月23日「ファイブ・ナイツ・アット・フレディーズ2」、▽3月「ウィキッド 永遠の約束」、▽3月13日「ギャビーのドールハウス ザ・ムービー」、▽4月24日「ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー」、▽「ステイヴン・スピルバーグ監督新作（仮題）」</p> <p>▽夏「ミニオンズ3（仮題）」</p> <p>■東北新社</p> <p>▽10月17日「牙狼（GARO）TAIGA（東映ビデオ配給）</p>		<p>■東和ピクチャーズ</p> <p>▽9月19日「劇場版スマーフ おどるキノコ村の時空大冒険」、▽12月26日「サムシング・エクストラ！やさしい泥棒のゆかいな逃避行」、《26年》</p> <p>▽1月30日「ランニング・マン」、▽「スポンジ・ボブ ムービーサーチ・フォー・ストクエア・パンツ（仮題）」、▽「パウ・パトロール ザ・ダイノ・ムービー（仮題）」、▽「プライメイト（仮題）」、▽「ハート・オブ・ザ・ビースト（仮題）」</p> <p>■トランスフォーマー</p> <p>▽10月17日「さよならはスローボールで」、▽11月8日「ネタニヤフ 調査 汚職と戦争」、▽12月19日「ボデビルダー」、《26年》</p> <p>▽「ピリオン（原題）」、▽「ザ・デイスピアランス・オブ・ヨーゼフ・メンゲレ（原題）」、▽「シラート（原題）」</p> <p>■日活</p> <p>▽9月26日「君の声を聴かせて」（KDDI共同配給）、▽10月3日「夏の終わりのクラシック」（KDDI共同配給）、▽10月24日「フジコ・ヘミング 永遠の音色」、▽10月31日「あの時、愛を伝えられなかった僕らの、3つの『もしも』の世界。」</p> <p>（KDDI共同配給）、▽11月14日「ブルーボーイ事件」、▽11月28日「そこにきみはいて」、▽11月28日「セフレの品格（フライド） 慟哭」、▽12月12日「セフレの品格（フライド） 終恋」、《26年》</p> <p>▽「プロジェクトY（原題）」（KDDI共同配給）、▽「ロビー（英題）」（KDDI共同配給）、▽「イツ・オーケー（英題）」（KDDI共同配給）</p> <p>■ニューセレクト（アルバトロス・フィルム／スター</p>		<p>キャットアルバトロス・フィルム）</p> <p>▽9月5日「バード こころから羽ばたく」、▽9月12日「バイオレント・ネチャー」、▽10月3日「3つのグノシエンス」、▽10月17日「蟲」、▽10月24日「ハード・トゥールース 母の日に願うこと」、▽10月31日「白昼夢」、▽11月14日「フライト・フォー・アグリ・ステップシスター（原題）」、▽「レイト・シフト（原題）」、▽「ハンズ（原題）」、▽「パブリック・グーラ（原題）」、▽「デフ（原題）」、▽「ブーニヴァース・モンスターズ・アッセンブル（原題）」、▽「デンジャラス・アニマルズ（原題）」、▽「エンジェルス（原題）」、▽「エンジェルヘディッド・ヒップスター」</p> <p>・ザ・ソングス・オブ・マーク・ボラン&amp;Tレックス（原題）」、▽「アダムズ・セイク（原題）」、▽「オマハ（原題）」、▽「13デイズ 13ナイツ・イン・ザ・ヘル・オブ・カプラー（原題）」、▽「アイ・ワズ・ア・ティーンエイジ・セックス・ピストルズ（原題）」</p> <p>■博報堂DYミュージック&amp;ピクチャーズ（ショウゲート）</p> <p>▽10月24日「愚か者の身分」（SEVEN共同配給）、▽11月21日「落下の王国4Kデジタルリマスター」、▽第1幕12月26日／第2幕1月30日／第3幕3月6日／第4幕4月10日</p> <p>「ガールズ&amp;パンツァー もっとらぶらぶ作戦です！」、《26年》</p> <p>▽「ヤダン・ザ・スニッチ（英題）」、▽「フレワカ（原題）」、▽「キー</p>		<p>パー（原題）」、▽「ゴースト・トレイン（英題）」</p> <p>■ハピネットファントム・スタジオ</p> <p>▽9月26日「テレビの中に入りたい」、▽11月14日「君の顔では泣けない」、▽11月28日「Ryuchisakamoto...Daries」、▽12月12日「エディントンへようこそ」、▽12月19日「星と月は天の穴」、《26年》</p> <p>▽1月1日「ロストランズ 闇を狩る者」、▽2月6日「たしかにあつた幻」、▽「ウォーフェア（原題）」、▽「プリング・ハー・バック（原題）」、▽「マテリアル（原題）」、▽「ストリート・キングダム」、▽「ザ・スマッシュ（原題）」、▽「マシーン（原題）」、▽「マーティ・スプリム（原題）」、▽「マザー・メアリー（原題）」</p> <p>■パルコ</p> <p>▽9月19日「ザ・コルダのフェニキア計画」、▽9月26日「ブラックバグ」、▽11月14日「君と私」、《26年》</p> <p>▽「ハムネット」</p> <p>■バンダイナムコフィルムワークス</p> <p>▽9月26日「Aquours Documentary」、▽10月3日「アイドリッシュセブン First BEAT! 劇場総集編 前編」、▽10月3日「機動警察パトレイバー 劇場版（Filmarks 配給、▽10月17日「機動警察パトレイバー marks 配給、▽10月17日「機動警察パトレイバー 2 the Movie」（Filmarks 配給）、▽10月31日「特別編集版 機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ ウルズハン ト・小さな挑戦者の軌跡」（同時に上映「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ 10周年記念新作短編「幕間の楔」、▽11月7日「映画 ラブライブ！虹ヶ</p>		<p>咲学園スクールアイドル同好会 完結編 第2章」、▽11月7日「トリツカレ男」、▽12月5日「アイドリッシュセブン First BEAT! 劇場総集編 後編」、▽冬「機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ キルケーの魔女」（松竹共同配給）、《26年》</p> <p>▽2月27日「劇場版 転生したらスライムだった件 蒼海の涙編」、▽映画 ラブライブ！蓮ノ空女学院 スクールアイドルくらぶ」</p> <p>■フラインフィルムズ</p> <p>▽9月26日「殺人配信」、▽12月26日「Fox Hunt フォックス・ハント」、《26年》</p> <p>▽「リトル・アメリカ」</p> <p>・オア・ザ・キャラクター」</p> <p>・オブ・レイン（英題）」（リトル・アメリカ）</p> <p>上映委員会配給、▽4月「ジ・オールド・オーク（原題）」、▽「ストライキング・レスキュー（英題）」、▽「巨頭オ（仮題）」</p> <p>■ポニーキャニオン</p> <p>▽9月19日「ひやくえむ」、▽9月26日「レッド・ツェッペリン」</p> <p>・ピカミン」、▽10月10日「ホウセンカ」、▽10月17日「劇場版OFFICIAL HIGH LIFE AND ISM LIVE at STADIUM 2025」、▽11月14日「天使のため」</p> <p>4Kリマスター」、▽11月28日「佐藤さんと佐藤さん」、▽12月19日「ヤンサン 夏の想い出 4K レストア版」、《26年》</p> <p>▽1月9日「架空の犬と嘘をつく猫」</p> <p>■ロングライド</p> <p>▽9月26日「ブライアン・エプスタイン 世界最高のバンドを育てた男」、▽12月5日「ペンギン・レッズン」、《26年》</p> <p>▽「モディ・スリー・デイズ・オン・ザ・ウィング・オブ・マッ</p>		<p>ドネス（原題）」、▽「リリーフェンシユータル（原題）」</p> <p>■ワーナーブラザーズ</p> <p>▽10月3日「ワン・バトル・アフター・アナザー」、▽10月17日「死霊館 最後の儀式」、▽10月31日「爆弾」、▽12月5日「WIND B REAKER/ウィンド・ブレイカー」、《26年》</p> <p>▽2月13日「新劇場版 銀魂 吉原大炎上」</p> <p>■コンペティションの15作品が決定</p> <p>「第38回東京国際映画祭」発表会見</p> <p>10月27日から11月5日まで日比谷、有楽町、丸の内、銀座地区で開催される「第38回東京国際映画祭（TIF）のラインナップ発表記者会見が10月1日、東京ミッドタウン日比谷BASEQで行われた。</p> <p>2023年から掲げる「東京から映画の可能性を発信し、多様な世界との交流に貢献する」というミッション（理念）に則り、今年は①交流ラウンジのスタートアップ（各種シンポジウム、ネットワーキングパーティーの場を用意、コロナ禍で途絶えていたクロージングパーティーも復活）、②ジェンダー問題への取組昨年新設した「ウィメンズ・エンパワーメント部門」を更に促進、③未来を築く人材の育成（アジア学生コンファレンス部門）を新設し、アジア各国で映画を学ぶ学生たちを短編作品のコンペティションで競わせ、新たな映画の未来の開拓を目指すの3点で映画祭を盛り上げていく。また、コンペティション部門の審査員は、審査員長のカルロ・シャトリアン氏（映画評論家をはじめ、グイ・ルンメイ氏（俳優）、マチュ・</p>		<p>■WOWOW</p> <p>▽9月19日「劇場版 JAZZ NOT ONLY JAZZ」、▽「【前編】10月10日／【後編】10月31日「劇場先行版 ゴールデンカムイ 札幌ビール工場篇【前編】／【後編】」、▽10月17日「リアム・ギャラガー・ライブ・アット・ネブワース2022」。</p> <p>ラクロー氏（編集者）、齊藤氏（俳優）監督、ヴィーアン・チュウ氏（監督／プロデューサー）が務める。</p> <p>なお、会見にはフェスティバル・ナビゲーターを務める俳優の瀧内公美、「コンペティション」部門に作品が出品されている「金髪」の坂下雄一郎監督、「恒星の向こう側」の中川龍太郎監督が登場した。</p> <p>瀧内はデビュー当時から東京国際映画祭に足ぐ通っていたということで、ナビゲーターに任命され「青天の霹靂です。緊張しております」と驚きを隠せない様子。本映画祭については「アジアの最高峰の映画祭と認識していますし、国内で上映されない作品を観ることができ、新しい映像作家にも出会える。原石を探す場所です」と明かした。</p> <p>（次のページへ）</p>	
--	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--





（前のページから）  
「コンペティション」部門のラインナップは次のとおり（ワールド・プレミア、アジアン・プレミア、APで表示）。

■コンペティション▽AP「アトロピア」（アメリカ）ヘイリー・ゲイツ監督。  
▽WP「金髪」（日本）坂下雄一郎監督。▽WP「恒星の向こう側」（日本）中川龍太郎監督。▽WP「ボンペイのゴレム」（フランス）アモス・ギタイ監督。▽AP「裏か表か？」（イタリア）ア／アメリカ アレッシオ・リゴ・デ・リーギ／マッテオ・ゾッピス監督。▽AP「雌鶏」（ギリシャ）ドイッ／ハンガリー パール・フィ・ジョルジ監督。▽WP「マリア・ヴィトリア」（ポルトガル）マリオ・パ

ゴールデングロス賞実施要綱

全興連は第43回「ゴールデングロス賞」を次のとおり実施する。

▽対象作品Ⅱ令和6年11月1日以降、令和7年10月31日までに公開された作品。▽選考方法Ⅱ「ゴールデングロス賞」は全国映画館（組合員）から、邦画、洋画別の興収ベスト5をメールもしくはFAXでアンケートを行い、選考委員会において受賞作品を選定する。▽受賞作品Ⅱ「ゴールデングロス賞」は邦画、洋画別に金賞各1本、銀賞各4本。金賞には賞状、副賞20万円と記念品、銀賞には賞状、副賞10万円と記念品を贈呈する。小規模・中規模作品で、映画館にとって貢献した作品を特別賞とし、賞状、副賞10万円と記念品を贈呈する。また、その年に前記以外で映画興行に貢献した作品も特

トロシニオ監督。▽AP「死のキッチン」（タイ）ペン・エーグ・ラッタナルアー監督。▽AP「マザー」（ベルギー／北マケドニア）テオナ・ストウルガル・ミテフスカ監督。▽WP「母なる大地」（マレーシア）チャン・ジアン監督。▽WP「春の木」（中国）チャン・リユル監督。▽AP「バレイスイナ36」（パレスチナ／イギリス／フランス／デンマーク）アンマリー・ジャシル監督。▽AP「虚空への説教」（アゼルバイジャン／メキシコ／トルコ）ヒラル・バイダロフ監督。▽WP「飛行家」（中国）ボンフエイ監督。▽WP「私たちは森の果実」（カンボジア／フランス）リディ・パン監督。

ニンジヤ（東宝）、「フアー・ストキス 1ST KISS」（東宝）、「劇場版 トリオンゲーム」（東宝）、「ヒプノシスマイク―Divisio Rap Battle―」（東宝）、「映画ドラえもん のび太の絵世界物語」（東宝）、「名探偵コナン 隻眼の残像（フッラッシュバック）」（東宝）、「#真相をお話しします」（東宝）、「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪TABOO NIGHT XX」（松竹）、「国宝（東宝）、「ドールハウス」（東宝）、「フロントライン」（WB）、「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猗窩座再来（東宝／アニプレックス）、（劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室―南海ミッション―」（東宝）、「映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンスサーズ」（東宝）、「近畿地方のある場所について」（WB）、「8番出口」（東宝）、「ブラッック・ショーマン」（東宝）、「劇場版 チェンソーマン レゼ篇」（東宝）、「秒速5センチメートル」（東宝）

【外国映画】  
「ヴェノム：ザ・ラストダンス」（SPE）、「アラディエーターII 英雄を呼ぶ声」（東和ビクター）、「モアナと伝説の海2」（ディズニー）、「ライオン・キング グラムファサ」（ディズニー）、「トワイライト・ウォリアーズ 決戦！九龍城砦（クロックワークス）、「野性の島のロズ（東宝和ギャガ）、「キャプテン・アメリカ：ブレイド・ニュー・ワールド」（ディズニー）、「ウィキッドふたりの魔女（東宝東和）、「教皇選挙（キノフィルムズ）、「白雪姫」（ディズニー）、「マインクラフト／ザ・ムービー」（WB）、「サンダーボルト」（ディズニー）、「ミッショナリー（インポッシブル／ファイナル・レコニング（東和ビクター）、「リロ&スティッチ」（ディズニー）、「F1／エフワン」（WB）、「スーパーマン」（WB）、「ファタモリグ4：ファイスト・ステップ」（ディズニー）、「星つなぎのエリオ（ディズニー）、「ジュラシック・ワールド／復活の大地」（東宝東和）

「イオンシネマ須坂」10月3日開業  
イオンエンターテイメント（株）は、甲信地方初となるIMA Xレーザーシアターを含む全9スクリーン、1328席を備えたシネマコンプレックス「イオンシネマ須坂」を10月3日に開業した。

同館は、長野県最大級の商業施設「イオンモール須坂」内に開設され、全スクリーンにレーザープロジェクターを採用し、ど

全米週末ランキング（9月19日～10月12日）

【全米週末ランキング（9月19日～9月21日）】									
順位	作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$	
1	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	ソニー／クラシロール	17,303,707	-75%	2	3342	5,178	104,733,741	
2	Him	ユニバーサル	13,251,560	0%	1	3168	4,183	13,251,560	
3	死霊館 最後の儀式	WB	12,280,749	-52%	3	3413	3,598	150,507,873	
4	Downton Abbey: The Grand Finale	フォーカス・フィーチャーズ	6,405,965	-65%	2	3711	1,726	31,731,585	
5	The Long Walk	ライオンズゲート	6,223,029	-47%	2	2845	2,187	22,642,363	
6	ビューティフル・ジャーニー ふたりの時空旅行	WB	3,252,578	0%	1	3330	977	3,252,578	
7	The Senior	エンジェル・スタジオ	2,628,666	0%	1	2405	1,093	2,628,666	
8	トイ・ストーリー 30周年記念上映	ディズニー	1,421,389	-59%	2	2340	607	5,907,690	
9	Sight & Sound Presents: NOAH - Live!	ファゾム・エンターテインメント	1,336,786	0%	1	933	1,433	1,553,105	
10	Weapons	WB	1,245,707	-54%	7	1186	1,050	149,717,324	

【全米週末ランキング（9月26日～9月28日）】									
順位	作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$	
1	ワン・バトル・アフター・アナザー	WB	22,000,387	0%	1	3634	6,054	22,000,387	
2	ギャビーのドールハウス ザ・ムービー	ユニバーサル	13,697,595	0%	1	3500	3,914	13,697,595	
3	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	ソニー／クラシロール	7,101,531	-59%	3	2984	2,380	118,177,378	
4	死霊館 最後の儀式	WB	6,750,090	-45%	4	3083	2,189	161,344,200	
5	The Strangers: Chapter 2	ライオンズゲート	5,806,192	0%	1	2690	2,158	5,806,192	
6	Him	ユニバーサル	3,599,650	-73%	2	3168	1,136	20,743,575	
7	The Long Walk	ライオンズゲート	3,314,077	-47%	3	2297	1,443	28,728,314	
8	Downton Abbey: The Grand Finale	フォーカス・フィーチャーズ	3,311,925	-48%	3	2829	1,171	38,919,915	
9	They Call Him OG	プラティンギラ・シネマ	1,296,301	0%	1	800	1,620	4,970,838	
10	スパイダーマン2.1（再上映）	ファゾム・エンターテインメント	1,114,365	0%	1	1484	751	1,114,365	

【全米週末ランキング（10月3日～10月5日）】									
順位	作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$	
1	Taylor Swift: The Official Release Party of a Showgirl	ヴァリアンス	34,062,774	0%	1	3702	9,201	34,062,774	
2	ワン・バトル・アフター・アナザー	WB	11,000,105	-50%	2	3634	3,027	42,626,251	
3	The Smashing Machine	A24	5,556,250	0%	1	3345	1,661	5,556,250	
4	ギャビーのドールハウス ザ・ムービー	ユニバーサル	5,323,510	-61%	2	3507	1,518	21,732,900	
5	死霊館 最後の儀式	WB	4,131,587	-39%	5	2753	1,501	167,886,393	
6	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	ソニー／クラシロール	3,552,519	-50%	4	2547	1,395	124,686,492	
7	アバター：ウェイ・オブ・ウォーター（再上映）	20世紀スタジオ	3,222,425	0%	1	2140	1,506	3,222,425	
8	The Strangers: Chapter 2	ライオンズゲート	2,843,897	-51%	2	2690	1,057	10,736,091	
9	Good Boy	IFC	2,343,694	0%	1	1650	1,420	2,343,694	
10	The Long Walk	ライオンズゲート	1,739,115	-48%	4	1930	901	31,962,858	

【全米週末ランキング（10月10日～10月12日）】									
順位	作品	全米配給	週末\$	%	週	館	Ave	累計\$	
1	トロン：アレス	ディズニー	33,241,433	0%	1	4000	8,310	33,241,433	
2	Roofman	パラマウント	8,108,861	0%	1	3362	2,412	8,108,861	
3	ワン・バトル・アフター・アナザー	WB	6,801,457	-38%	3	3127	2,175	54,627,419	
4	ギャビーのドールハウス ザ・ムービー	ユニバーサル	3,456,630	-35%	3	3049	1,134	26,539,025	
5	死霊館 最後の儀式	WB	3,110,410	-25%	6	2334	1,333	172,617,482	
6	Soul on Fire	ソニー	2,826,192	0%	1	1720	1,643	2,826,192	
7	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	ソニー／クラシロール	2,280,896	-36%	5	1834	1,244	128,668,002	
8	The Smashing Machine	A24	1,634,137	-72%	2	3321	492	9,644,594	
9	The Strangers: Chapter 2	ライオンズゲート	1,614,347	-43%	3	1878	860	13,562,146	
10	Good Boy	IFC	1,408,707	-40%	2	1650	854	4,911,714	

少年は男から「光」をもらい、男に「人生」を与えた。

11.14(金)

主演：館ひろし／監督：藤井道人

脚本：藤井道人

撮影：木村大作

音楽：岩代太郎

美術：原田清生

企画：河村光庸

制作：minato-no-hikari.com

配給：東映 スターダスト ©2025「港のひかり」製作委員会

館ひろし

直栄田郷敦

尾上真秀

黒島結葉

斎藤工

ビニール

MEGUMI

赤堀雅秋

市村正親

宇崎竜童

笹野高史

権名裕平

港のひかり

A LIGHT IN THE HARBOR